

昭和50年10月5日発行 No.281号

たけのこ

広報

くんち (潮見神社)

供目 (くんち) という呼び名は神に

新穀をお供えする日であると思はれる。

橘町の潮見神社では、10月19日に

氏子がみこしをかつぎ、笛、太鼓、

しゃの毛や鉾などをお供に参道を

練り歩く。

一般会計 1億1334万円を補正

九月定例市議会

九月定例議会は十六日の会期を九月二十七日に終りました。
提出された議案は、水道事業給水条例の一部を改正する条例、一般会計補正予算、白岩体育館設置条例など十九議案で、原案通り可決されました。

一般会計・41億円に！

予算議案は、財政状況悪化の中で、既決予算内での経費節減により歳入欠陥分を補うことを基本としたもので、今回は競輪売上げを本年度最終見込みまで計上した繰入金五千万円と駅改築の精算による国鉄よりの返還金一千万円を主な財源としています。
会計別補正額はつぎのとおりです。

一般会計 一億一千三百三十四万円。
と畜場特別会計 七十五万八千円。
競輪事業特別会計 十億三千八百五十一万一千円。
武雄都市計画武雄駅南部土地区画整理事業特別会計 千三百二十六万三千円。

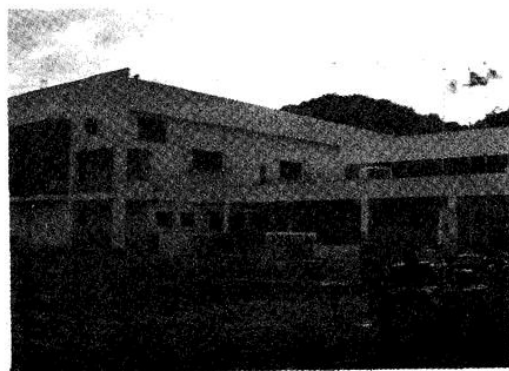
総務費は、地方都市整備事業負担金二百七十万円や青年会館負担金など総額二百三十八万一千円が上げられています。
民生費では、本年度から実施される、在宅重度障害者福祉手当として、三カ月分三百二十一万六千円と老人家庭奉仕員一名増員の経費が上げられています。
衛生費では、し尿処理場第一消化槽清掃工事費や葬斎公園の落成に伴い運営費負担金など総額八百四十六万八千円が上げられています。

農林業費では、がけ地近接危険住宅移転事業補助金、多々良製茶工場の製茶機更新の補助金、家畜排泄物利用処理対策事業補助金の追加、松くい虫対策事業補助金の追加など総額二千二百七十九万四千円を計上しています。
商工費では、市公共事業施設施行に伴う移転改築資金利子補給金五十二万七千円。

駅名改称期成会負担金百五十万円、梅林駐車場舗装工事費八十五万円を計上しています。
土木費では、主要道路整備事業に六百八十万円、一般道路整備事業に二千二十五万五千円など総額三千八百二十七万八千円を計上しています。

教育費関係では、主なものとして、社会教育費で第二十回九州地区PTA研究大会ほか補助金百八十二万円、体育館落成に伴い備品購入費四百十九万円が上げられています。

白岩体育館が完成



ことし一月から建設が進んでいた白岩体育館が、いよいよ今月末には落成することになりました。
これに伴って、今議会に設置条例が提案され、使用の許可、使用料、設備などの制限が決められました。
体育館の使用料は、個人使用料が一人三十円です。

また、占用使用料は別に料金が決められています。

この体育館は、五十一年若楠園体で剣道競技会場に予定されていますが、不断は市民のスポーツ施設として幅広い活用が出来るよう幼児体育室なども設けられ、独得な設計がなされており、利用が果たれます。

スポーツ振興審議会 を設置

この審議会は、スポーツ振興法に基づいて設置されたもので、心身の健全な発達と明るく豊かな生活を目的としています。
これから、スポーツの振興につとめていくこととなります。
なお、この条例の設置により、体育指導員に関する条例が廃止されました。

市立図書館 協議会を設置

この協議会は図書館法に基づいて設置されたもので、これから図書館の充実がはかられます。

水道料金を改正

十一月分から

中 九月定例市議会で、水道料の改定案が議中

中 決され、十一月分（十月使用分）から新料金

中 金が適用されることになりました。

中

**水道事業は、
独立採算制**

水道事業は、地方公営企業法に基づいて、独立採算制を建て前と

していただきますので、水道料金で事業経費をまかなうのが本来の姿です。

しかし、これまで、水道事業は他会計からの多額の補助を受けて

収入不足を補ってきましたし、今後も補助は必要ですが、一

般会計などからの補助によって水道事業会計の赤字を埋めるとい

ことは、企業として維持すべき経済性を軽んずることになり、受益

者負担の原則を崩し、こう平の原則に反する事にもなります。

また、一般会計などから水道事業会計に多額の補助を出さなければ

ならないということは市財政にとってマイナスであり、その分だけ

他の事業の縮小を余儀なくされます。

市はダムをはじめ水道施設の建設に巨額の資金を投入しましたが、その大部分は企業債すなわち国からの借入金にたよっています

**現在の市水道
事業は**

現在の水道料金では年間約七千九百万円の料金収入が見込まれるのに対して、支出面では、企業債の元利償還のみで年間約五千八百万円もあり、その他の営業費用を合わせると年間約一億三千万円にも達します。

市では、漏水防止などによる有収率の向上、事務処理の改善を図るとともに、住民サービスの低下をきたさないよう配慮しながら、経費の抑制、節減に努めています。が、一昨年のオイルショック以来の物価などの高とうにより、費

水道料の改正

用の伸びが、収入の伸びを大きく上回っており、水道財政は悪化の一途をたどっています。

このようなことで、水道事業の健全な運営のために原価計算に基づいた料金の適正化を図る必要があります。料金改正となりました。前回は（昭和四十六年九月）以来四年ぶりの改正ですが、今回は、基本料金の引上げを最少限度にとどめたことが一つの特色で、家庭用の料金についてみれば、一家庭平均（使用水量十四キロリットル）で、現行八百四十円が二百六十円（三十一パーセント）増の千五百円となっております。

1 専用給水装置

区分	基本水量	基本料金	超過料金
家庭用	月 8kl	月 500円	1klにつき 100円
営業用	〃 〃	〃 〃	〃 〃
官公署・病院用	〃 〃	〃 〃	〃 〃
臨時給水用	〃 〃	〃 〃	〃 〃
学校用	〃 100kl	〃 7,000円	〃 70円
プール用	〃 〃	〃 5,000円	〃 50円

2 共用給水装置

区分	基本水量	基本料金	超過料金
家庭用	月 8kl	月 500円	1klにつき 100円

3 私設消火栓

区分	料	金
消火演習用	使用5分間につき	500円

ご協力を！

水道料金の引上げによって、水道利用者の皆さんには、家計や営業面でいろいろ影響もありませんが、水道財政の実情をご理解の上、ご協力をお願いします。

合同行政相談所

市、県、国の仕事について苦情などのある方は、お気軽においでください。

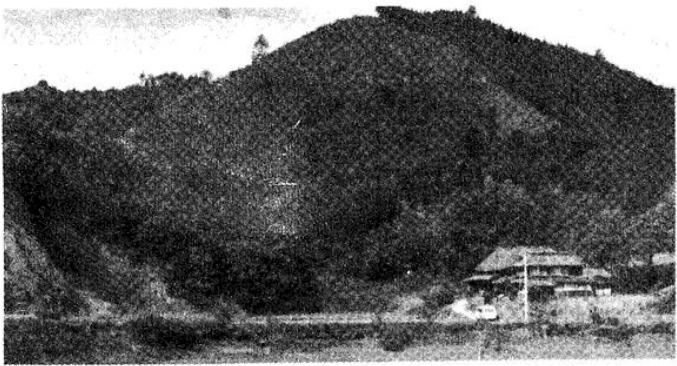
期日 10月13日(月)

午前10時～午後3時

場所 市役所三階会議室

武雄港湾労働者保養センター 用地造成に着手

武雄町溝ノ上に建設される武雄港湾労働者保養センターの用地造成起工式が、九月二十五日午後二時から現地で、九州港湾福利厚生協会の立石要次郎佐賀支部長、石井義彦助役ら約二十人が出席して行なわれ、工事の安全を祈りました。



「武雄湯か里荘」につぐものです。本工事は十二月着工の予定で用地は約六千五百平方メートルです。

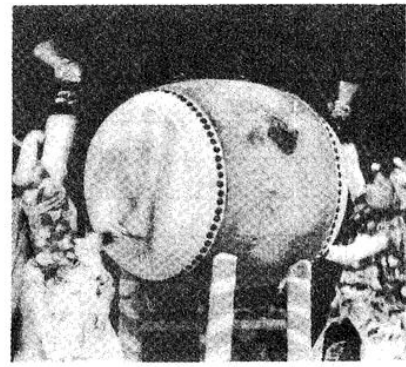
この種の施設はほぼ九州各県に設置されていますが、規模の大きさとしては別府市について二番目です。

計画では、鉄筋コンクリート二階建て延べ七百八十平方メートルで、一階は食堂、娯楽室、浴室のほか会議室、事務室など、二階は宿泊室で一室八畳の十室が設けら

れます。また、このセンターは港湾関係者の保養施設ですが、一般にも開放が計画されています。

来年の若楠国体開催前までには完成、オープン予定です。

市無形文化財に指定 真手野の舞浮立



市文化財調査委員会の答申に基づいて、九月十一日、市無形文化財に真手野の舞浮立を指定しました。

真手野の舞浮立は、武雄二十六代領主鍋島茂明が三河岡崎から移入したと伝える「笹川考草」の説などがありますが、はっきりしていません。

明治以降の伝承については明確であり、現在でも「真手野舞浮立保存会」によって受け継がれている。奉納は、毎年四月の招魂祭と七月十五日の夏祭に武内神社境内で行なわれます。

笛、地囃子、鐘、大太鼓の合奏で、笛吹きは、絞付袴に陣笠をかぶる。地囃子は、編笠の上に五色の紙を切り裂いて結びつけ、片肌を脱

いで、赤や青のたすきを着流す。大太鼓は一人か二人で打ち、舞浮立の中心をなすもので、バチはカシの木、衣裳は踊りの種類によって変わる。

鐘打ちは、木綿の着物に、手甲と脚はん、前かけをつけた者が舞いながら鐘を打ち、ほかは着流しで打つ。

この舞浮立の見せ場は、詰め大鼓で、バチさばきと踊りが盛り上がりを見せます。無形文化財は現在、県指定の高瀬、宇土手、中野の荒踊りがありますが、市の指定は今回が初めてです。

たばこは
市内で
買いましょう

特選に青木君(橘小) 明るい選挙ポスター

市明るい選挙推進協議会と市選管は、市内の小中学校から「明るい選挙啓発ポスター」を募集して

いましたが、応募作品千四百七十一

点(小学校四百九十七点、中

校九百七十四点)を審査した結果特選には小学校の部で青木孝司君(橘小六年)、中学校の部で小

柳讓二君(武雄北)が選ばれました。

なお入賞以上の作品は県コンク

ールに出品されます。

【小学校】特賞「青木孝司(橘六年)▽天賞「小林理恵子(橘五年)川原ひとみ(若木六)▽地賞「渡辺智樹(武雄六)埋ノ江辰也、西

村久美子(橘六)▽人賞「青柳慎二(橘五)北川みき(橘四)溝上

司(橘六)吉岡蘭子(武雄六)中

島孝徳(若木六)▽入選「山崎千

秋(橘四)山口知佐子(橘五年)村山たつえ、諸隈正樹、草場敦美(橘六)原口由美子、原口純孝(若木六)山口ヒロミ(東川登五)隅地一孝、橋口久子(東川登六)

三)、田中みのり(武雄二)、▽地賞「山田智恵子、渡辺成樹(武雄三)、笠原寛也(武雄北二)、人賞「松尾一香(武雄北三)、樋

渡里美、藤川正範、津山由美子(武雄北二)、小野靖久(武雄三)

入選「久間睦栄、野田律子、川

内豊、野田由貴子、篠原富美子、石橋英子(武雄三)、中村しのぶ(武雄二)坂井清彦(武雄一)松尾征二、原口京子(武雄北二)



秋 行楽期の 交通事故防止

例年、十月から十一月にかけては、休日、連休が重なり、いわゆる秋の行楽期に当たるところから家族連れや職場でのレクリエーションなどが活発になる季節です。

この間の交通事故の月別発生状況を昨年中の死者数についてみると、十一月をトップに、十二月、八月、十月の順となり、事故多発の傾向にあるといえます。

これはマイカー利用のドライブや長距離旅行が多くなることに原因があると考えられます。

このため、行楽期の事故防止として、つぎのことを守りましょう。

走行計画を立てよう

● 事前に目的地までの道路状況や交通状況についてよく検討し無理のない走行計画をたて、平

静な心で常に安全運転を心掛け長距離運転するときは、必ず休憩時間をとりましょう。

● 数台の車に分乗してドライブするときは、車間距離を十分にとるとともに、グループのみでひとかたまりになって走行しないようにすべきです。

このため予定コース、休憩場所、目的地などを全員によく知

らせておくとともに、常にペースメーカーを決めておくことが必要です。とくに、高速道路では、二時間に一回の割合で必ず休憩時間をとることを励行してください。

車の点検整備を完全に

● エンジンやブレーキの調子はよいか、ハンドルにガタはないか、ウインド・ワイパーはよく作動するか、空気圧は適当か、シートベルトはいつでも使用できる状態になっているか、などについて点検整備を十分におきましょう。

また、不慣れた車の場合、出力、性能、クセなどを十分

のみ込んでから出発するようにしたいものです。

運転上の注意事項

● シートベルト着用効用のついてはすでに本年八月一日から着用推進運動が進められてい

ますが、実際に着用となると、高速道路でさえ着用率は良好といえません。

すべての人が、必ず着用するよう、お互いに注意しあいましょう。

● 常に譲り合いの気持ちをお忘れなことが、安全運転のマナーです。無謀な追越しやスピードの出し過ぎはやめましょう。

● 行楽には、とかく酒がつきものですが、「飲んだら運転しない」「運転するときは飲まない」「飲んだ者には運転させない」の三原則を守りましょう。

● スピードに応じた車間距離をとるようにしましょう。

とくに高速道路では、走行キロをそのままメートルに直した距離をとって走ることを習慣付けましょう。

● 横断歩道や踏切の手前では、一時停止を確実にしましょう。とくに横断歩行者の保護にとめましょう。

支給が拡大されます 特別児童手当

二十歳未満の児童で、国民年金法一級該当者に支給されていた特別児童扶養手当が、二級に相当する程度の廃疾の状態にある者についても、新に十月一日から月額一万二千円が支給されるようになりました。

手続きなどくわしいことは市民課年金係か福祉事務所におたずねください。

第20回九州PTA研究大会

11月20日・21日

市文化会館

遠く沖縄をはじめ九州各県から、3000人余りのPTA会員が、この大会に参加することになりました。

市民挙げてあたたかく会員を迎えましょう。

たけおの民話

= 7 =

こんべいどんの
どじょう汁

村の若い衆が、どじょう汁を煮
よったそう。

こんべいどんは、豆腐をさげて
行って、

「おれもかててくれんか、豆腐
二丁買って来たばい」

とにっこりする。若い衆は、ま
ただまされるかも知れんと、よく

よく見たが、まぎれもなく、豆腐
二丁である。

「よかろうばい。早速切って、
ほりこんでくんさい」

「待て待て、豆腐は切らずにそ
のまま箸でつついた方がうまかと
ばい」

「云うが早いか、こんべいどんは
豆腐二丁を鍋の中にすべりこませ
てふたをした。

だんだん熱くなる鍋の中で、ど
じょうがバタバタはね出した。苦
しまぎれに、豆腐の中にもぐりこ
む、こんべいどんは頃合いを見て
鍋のふたをあけた。

「ありや、ちよつと用事を思い
出した。ほんにすまんばってん、
今日はかさられん。豆腐は返して
もううけんの」
さつさと、豆腐を引き上げて、
行ってしまった。
しばらくして、

年「さあ、もうよかろう」
と若い衆が、ふたをあけてみた
ら、どじょうが、ごぼうに化けた
のか、みそ汁の中のどこを探して
も、どじょうは一びきも居なかつ
た。

「ありや、又やられたばい」
こんべいどんが、豆腐で、どじ
ょうを一人じめにしたという話。

武雄地方の民話をあつめていま
す。いわゆる「むかしばなし」と
して伝わっているものです。
明治生れでなくても、云い伝え
など、ご存知の方はお知らせ下さ
い。「こんべいどん」に限りませ
ん。

武雄市川良 松尾善草

ひろば



老人スポーツ大会

市内のお年寄が集まって、9月30日午前10
時から、園田病院グラウンドでスポーツ大
会が開かれ、ロマンス競走や玉入れに一日
を楽しくすごしました。

文化祭案内

- ◎十月十八日―幼稚園アワー(十
三時～十六時)文化会館大ホール
- ◎十月二十一日～二十三日古地図
展(九時～十七時)文化会館大
集会室A
- ◎十月二十二日、二十三日―華道
展(九時～十七時)文化会館
大集会室B
- ◎十月二十三日～十一月五日―菊
花展、市役所前中央公園
- ◎十月二十五日～二十七日―小
中学校美術展(九時～十七時)
文化会館大集会室A
- ◎十月二十六日―婦人生活文化
展(九時～十七時)文化会館大
集会室B
- ◎十一月一日～三日―書道・日
本画展(九時～十七時)文化会
館大集会室A
- ◎十一月一日―短歌大会(十三
時～十七時)文化会館中集会室B
- ◎十一月二日―俳句大会(十三
時～十七時)文化会館和洋裁室
- ◎十一月七日～九日―洋画展
(九時～十七時)文化会館大集
会室A
- ◎十一月八日―やまびこ公演
(十九時～二十一時)文化会館
大ホール
- ◎十一月九日―青年団演劇(一
十九時～二時)文化会館小ホール
- ◎十一月九日―川柳大会(十三
時～十七時)文化会館中集会室B
- ◎十一月十五日、十六日―らん
展示会(九時～十七時)文化会館
大集会室B
- ◎十一月十五日―弁論大会
小・中学校の部(十四時～十七時)
文化会館小ホール
- ◎十一月十六日―弁論大会幼児の
部(九時～十時)。全国青年弁論
大会(十時～十七時)文化会館小
ホール
- ◎十一月九日―青年団演劇(一
十九時～二時)文化会館小ホール
- ◎十一月九日―川柳大会(十三
時～十七時)文化会館中集会室B
- ◎十一月十五日、十六日―らん
展示会(九時～十七時)文化会館
大集会室B
- ◎十一月十五日―弁論大会
小・中学校の部(十四時～十七時)
文化会館小ホール
- ◎十一月十六日―弁論大会幼児の
部(九時～十時)。全国青年弁論
大会(十時～十七時)文化会館小
ホール

両陛下ご訪米写真展

日時 十月十日～十六日(九時
～十七時)
場所 文化会館市民ホール

「肥前の仏教美術展」

開催期日 十月十日～十一日
九日 月
会場 県立博物館
観覧料 大人 二百円 大・高
生 百五十円 中・小生
百円

秋の大掃除 10月19日

みんなの

第七回

「かんぽ資金」写真コンクール

(一)テーマ、簡保資金融資施設(学校、公園、道路、市場など)を題材とした明るい作品。
 融資施設は郵便局でおたずねください。

(二)サイズ、カラーはスライド三十五ミリ以上、白黒は四つ切り
 (単写真、組み写真いずれも可)
 (三)作品の受付、郵便局の保険窓口
 (四)締切、五十一年一月十六日
 くわしいことは武雄郵便局におたずねください。



おたんじょうおめでとう

連載漫画

7

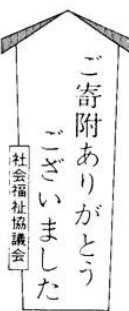
タケが

こ



- 保坂由香里(川良 昇一 二女)
- 黒崎慎哉(下西山 正二郎長男)
- 佐藤慶祐(八並 正道 長男)
- 津由良治(上西山 良勝 長男)
- 辻 清治(中町 一正 三男)
- 辻 利治(中町 一正 四男)
- 河合美陽子(永松 十三夫長女)
- 外尾和砂(松原 基 二女)
- 山口智子(永松 京三 長女)
- 山口修史(松原 敬文 二男)
- 森 美緒(花島 修平 長女)
- 谷口ゆう子(武雄 優 長女)
- 鶴崎 晃(川良 文雄 長男)
- 野口とも子(川良 義幸 二女)
- 松尾絵里子(松原 己義 長女)
- 瀧野伸一(中町 尚明 長男)
- 瀧野佳五(中町 尚明 二男)
- 新宮基康(永島 吉弘 長男)
- 相川敏雄(二俣 敏治 長男)
- 中野勝彦(甘久 茂満 長男)

- 山口布佐子(川上 守 長女)
- 山口修平(甘久 和則 長男)
- 清水俊行(北上滝 泰輔 長男)
- 草場 亮(甘久 義和 長男)
- 森山弘之(甘久 義人 長男)
- 山口久美子(甘久 光敏 長女)
- 馬渡真吾(高橋 洋三 長男)
- 鳥谷綾子(南上滝 一男 二女)
- 山口哲生(甘久 和彦 長男)
- 山口和典(甘久 清實 二男)
- 原口陽介(川内 末敏 二男)
- 藤瀬優子(原 直文 長女)
- 笠原由加(中山 末治 長女)
- 蒲地敏郎(平古場 政男 四男)
- 村島秀和(鯉淵 勝二 長男)
- 草津美子(柿田代 仁義 二女)
- 古賀里利子(鳥越 徹之 二女)
- 松尾知典(北永野 正博 長男)
- 坂口美奈子(弓野 登 長女)
- 松尾孝司(庭木 弘行 長男)



(香典返しの方)

- 広瀬カズエ(朝日町高橋 亡二女 晶子)
- 坂井民子(武雄町 永松 亡母 キヨ)
- 村山タカ子(橋町小野原 亡母 マス)
- 北川繁(朝日町川上 亡母 トヨ)
- 坂本進(橋町上野 亡三女 直子)
- 馬渡年夫(武雄町

(篤志の方)

- 参万円 原口金男(武雄町小楠 五月右足骨折治療中の処、全治したので見舞返しとして)
- 参千五百円、松尾繁雄(橋町 鳴瀬 拾得報労金)

- 川良 亡母 サツ) ○境袈裟雄(東川登町袴野百木 亡母 ナツ)
- 末藤幸七(武雄町下西山、亡母 ツナ)
- 下平清俊(朝日町川上 亡父 俊七)
- 前田静雄(東川 登町内田西光寺 亡父 繁身)
- 田中秋田(武雄町下西山 亡母 ソヨ)
- 平島次郎(佐世保市汐見町九十一「武内町西ノ角出身」亡母 ユキ)
- 川内好彦(東川 登町永野 亡父 好武)
- 日高綱次(若木町下村 亡母 ユミ)
- 宮原武市(朝日町川上 亡妻 八重子)
- 山口蓮男(武内町赤穂山 亡母 テイ)
- 古賀又七(武内町真手野馬場 亡二男 民)
- 古賀文治(武雄町宮野町 亡母 ハナ)
- 浦川鶴久(東川登町北 永野 亡妻 キクノ)
- 古川靖(武内町平古場 亡父 次)
- 野口秀雄(武内町福和 亡妻 マツエ)
- 貝原乃志(武雄町本町 亡夫 義勇)

陽のあたる教育

= 7 =

よろこび

「リリン」と、三時間目始業のベル。こんどは珠算の時間だな、と思いながら教室へ入ると、「パチ、パチ、パチ」と、子どもたちは指を動かしている。動きのリズムは軽快ではないが、なんとなく自信らしいものが感じられた。

A君が、「先生。二けたのかけざんが、そろばんでできることになったよ。」

この得意そうな顔。他の子どもも二

コニコとA君の話を聞いている。何とすばらしいムードか。

「ほう。よう練習はしたばいねじゃあ、みんなで、この問題をしてみよう。」

「94×24」

子どもたちは待っていましたとばかりに、いっせいに指を動かはじめた。「パチ。パチ。パチ。」とそろばんの音。このそろばんの音にまじってA君のつぶやき、

「4×9=36。4×4=16。2×9=18。2×4=8で2256。できた!!」

「先生、できたよ。先生のはどがなかったね。やった!! 先生の答と同じばい。」

「Aちゃん、できることになったのう」と、他の子どもA君をほめて

いる。「うん。ノートで計算するぎ、時々九九ば忘れるばってん、を確実に進めて行くことだと思ふ。」

そろばんですると、口から九九がでてきておもしろか

一生けん命練習して、ようやくできた二けたのかけざん。このよろこびを自分だけのよろこびとして、じっとしておられないA君の気持ち。「Aちゃん、おいもばい」と、B君、C君。

なあんだ、これ位のことと、と思うかもしれないが、この子どもたちにとって、わかるよろこび、わかったよろこびは普通学級の子のよろこびの二倍、三倍、いや、はかりしれないものであろう。

特殊学級の経営はむずかしいといわれるが、この子どもたちの横のつながりを大切に、子どもの「やる気」「よろこび」を土台として

みんなともだち

学校・クラブ活動めぐり

- 5 -

武雄小 創作クラブ



広報たけお十月五日発行

発行／武雄市

武雄市武雄町大字昭和一番地一

武雄小の創作クラブは十七あり、文芸的クラブ十と、体育的クラブ七に分れて活動しています。

私たちの創作クラブは、文芸的クラブの中の一つです。先生は、渡辺泰邦先生と原テロヨ先生で、部員は男ばかりの三十八名です。

みんなのりもの(動くもの)がすきで船や自動車、グライダーなどを作っています。最初、何を、何で、どのように、作るか計画を立てて先生と相談します。先生は

「これはむずかしくないか。」とか「このところをくふうしたら」とかいつて指導してください。計画を立てても作ることも多いうにいかず、失敗することも多いようです。でも出来上って、水に浮かべたり、飛ばしたりして遊ぶ時の気持ちは、作った人でないと味わえない魅力があります。

このように、私たちのクラブ活動は、計画に無理な場合と、技術的にむずかしい場合があるので、



☎3-2694

- 僕のいる絵葉書…永 六輔 著
- 官僚たちの夏…城山三郎 著
- 乱世に語る…羽仁五郎他著
- 迫りくる食糧危機…中村広次著
- 自分を知る心理学…原田 茂著
- 原色化石図鑑…益富壽之助著
- 美のイメージ…宗 左近 著
- どてらい男(完結篇) 花登隆著
- ネクタイの幅…永井龍男 著
- 少年たんでいブラウン②⑦
- ドナルド・J・ソボル著
- 昭和五〇年度(四月～五一年三月まで)の登録をせずに借りておられる方があります。必ず済ませてから借りてください。新年度になって始めて借りられる時は、必ず係へ申し出てください。中学生以上の方には証明書として図書借覧証をお渡ししています。
- 全国方言辞典…東條 操 編
- 六法全書(昭和五〇年版)
- 絶望からの出発…曾野綾子著
- 遺言と遺言書の本 圓山雅也著
- 木精…北 杜夫 著
- 未来への遺産(才一集、才三集) NHK編集部 編

その時に、友だちや先生に相談するくらいで、そのほかはまったく自由なクラブです。

好きなものを、自由に作れるクラブ、自分の手でたしかめながら作りあげ、完成の喜びを味わえるクラブ、友だちどうし助けあい励ましあうクラブ、これが武雄小の創作クラブです。

毎週金曜日が待ちどおしいようです。

編集／武雄市総務課

広報統計係